

第 82 回全国健康保険協会香川支部評議会議事録

開催日時：令和 7 年 3 月 10 日（月）15：00～16：45

開催場所：全国健康保険協会香川支部 会議室

評 議 員：長山評議員（議長）、芳我評議員、藤井評議員、
藤岡評議員、古屋評議員（副議長）、松木評議員、三好評議員
（欠席）西尾評議員、原田評議員

（五十音順）

議事

○報告事項

1. 2025（令和 7）年度支部事業計画及び支部保険者機能強化予算について
2. 2025（令和 7）年度都道府県単位保険料率の決定について

○その他

- ・協会けんぽ香川支部の概要

○報告事項

報告事項 1. 2025（令和 7）年度支部事業計画及び支部保険者機能強化予算について

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

【学識経験者】

ジェネリック医薬品のある先発医薬品（長期収載品）の選定療養について、長期収載品を選んだ場合に加算される特別の料金は高額療養費の計算対象に含まれるのか。

【事務局】

特別の料金については対象に含まれない。

【事業主代表】

アメリカのジェネリック医薬品使用割合について、数量ベース 96%に対し、金額ベースでは 40%とのことだが、4%の数量で 60%の金額を占めることになるのか。

ジェネリック医薬品使用割合が上がると、新薬を開発する製薬会社が利益を得ることが難しくならないのか。

【事務局】

- 1 点目について、次回評議会等で説明する。
- 2 点目について、薬価は国の中央社会保険医療協議会で審議のうえ決定されるが、新薬

は開発コストを考慮したうえで決定されるため、新薬を開発する製薬会社の利益が損なわれることはない。

報告事項 2. 2025（令和 7）年度都道府県単位保険料率の決定について

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

【被保険者代表】

インセンティブ制度に関連して、健診受診率の実績について直近の数値はどのくらいなのか。実績から保険料率が下がる見込みはあるのか。

【事務局】

がん検診がセットになった生活習慣病予防健診と労働安全衛生法で義務付けられている事業者健診のデータ取得を合わせると約 62%である。インセンティブ制度への影響については、毎年受診率が高い支部だけが有利にならないよう、評価指標に受診率の伸びも含まれているため、受診率が大きく伸びれば、保険料率の引き下げにつながる可能性がある。

【事業主代表】

従業員 5 人未満の規模が小さい事業所では経営者も労働者と同様の仕事をしているため、健診を受診して要精密検査等の結果が出ても自覚症状がなければ、忙しさから目先の仕事を優先してしまうのが現状である。

【事務局】

難しい現状があることは関連団体等からも伺っている。香川支部として重要視している取組の 1 つとして、令和 7 年度よりがん検診で要精密検査の判定を受けたにも関わらず、その後医療機関を受診していない加入者に対して半年後受診勧奨を行う事業を開始する予定。全国で肺がん検診について実施し、香川支部では独自に胃がん検診と大腸がん検診についても追加実施する。

【学識経験者】

風邪薬や湿布等について保険医療適用外の議論があるが、協会けんぽは賛成、反対、どちらの立場なのか。

【事務局】

一部の風邪薬等を適用除外とする立場を示している。

【事業主代表】

高額療養費制度の上限引き上げについて報道されているが、働き盛りの世代への影響も大きい。高齢者で収入の多い加入者の負担割合や終末医療や緩和医療への保険適用の是非など、他に検討することがあるのではないか。

【学識経験者】

終末期医療、延命治療等については長期かつ高額になることもあり、考えていく必要がある。

【事務局】

保険者の費用負担の面から言うと、医師偏在が問題となっている。保険者協議会においても、小豆地区の医師の確保のために、各保険者が費用負担することが議題にあがっている。

○その他

協会けんぽ香川支部の概要

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

【学識経験者】

歯科の1人当たり医療費が全国平均より高いことについて、何か要因はあるのか。

【事務局】

歯科については、受診率と1月当たりの受診日数と1日当たり医療費の側面から見た場合、1日当たり医療費が高く、外来では受診日数が多いことが一因と考えられる。

以上

令和7年3月10日